

県立学校の休業期間の延長について

政府はゴールデンウィークの5月4日、全都道府県に出されている緊急事態宣言を5月31日(日)まで延長する決定をしました。さらに本県は引き続き特定警戒都道府県として指定されました。確かに一時より感染者数は減りましたが、未だに県内では毎日、感染者数が発表されています。

本県では緊急事態宣言が延長されたことにより、県立学校の休校も延長されました。しかしながら、感染者が未だに出ていない岩手県では、7日から県立高校の休校を解除して授業を再開しました。同様に青森県や鳥取県では、県立高校の休校が一斉に解除されました。また、愛媛県、鹿児島県、秋田県、長崎県、大分県でも11日から県立高校の休校が解除され、授業が開始されます。全国の公立高校の中で5月中に休校解除されるのは16県にも及びます。このように学校における感染及びその拡大リスクを可能な限り低減しつつ、段階的に実施可能な教育活動を開始することとし、地域の状況を踏まえて学校教育活動を再開する予定です。この結果、地域による教育格差が生じなければよいと思っています。

ある塾によると、今回の休校により8割の生徒が程度の差はあるものの、学習に遅れることが予想されるとしています。特に、大学入試は高校入試と異なり、基本的には日本全国の高校生が受験対象者になります。首都圏の大学を受験すると考えた場合、神奈川県や東京都の受験生も、岩手県や鳥取県の受験生も同一の問題を解くことになります。そのため休校解除が遅くなる地域では、学習進度が遅れるのではないかと危惧されています。実際、各自治体、教育委員会は学習進度の遅れを取り戻す対策を進めています。学習の遅れを取り戻すための対策には、オンライン学習、指導順序の見直し、行事の精選や中止、時間割の変更、夏休みの短縮、土曜授業などが挙げられます。

このような地域間の教育格差が生じないように、本校では休業期間中に課題配付や教科書、スタディサプリ等による家庭学習を実施しています。ここで出された課題は、その学習状況や成果を適切に把握し、評価していきます。

また、休業期間中に登校日を設けてはいませんが、個別に登校して学習指導や進路相談等を行うことはできます。特にキャリアアドバイザーの平戸先生は、5月12日(火)より登校し、生徒の進路に関する相談等に応じてくれますので、希望者は事前に学校(各年次)に電話等で連絡を取り、予約をとって個別に登校してください。心理面等でスクールカウンセラーの岡部先生の相談を受

けたい場合には、事前に学校(教頭又は西澤先生)に連絡して、予約を取ってください。

新聞やテレビのニュースで報道されたように、学校が再開され登校させる場合、小学校1年生、小学校6年生、中学校3年生を優先させるという方針を、文部科学省は出しています。高校の場合も教育内容等に関して同様に高校3年生を優先する措置を取ることを考えています。

県立高校の休校解除がいつになるのか不透明な状況が続きますが、学校が再開された時、少しでも遅れを取り戻すために課題の間を理解しながら答えを埋めてください。1回目の課題回収を5月18日(月)から5月22日(金)までに行います。郵送で送付するか、個別登校の際に提出してください。また、期限までに提出できない生徒は、必ず担任に連絡を入れてください。

さらに、規則正しい生活習慣を取り戻すため、5月18日(月)から土日祝日を除いて、Classroomを利用してホームルームを実施します。自分のClassroomに入って連絡事項の伝達、健康チェック、課題に関する質問などを行います。(※登録が整えば18日より前からホームルームを開始する場合もあります。)

今回の緊急事態宣言の延長同様に、休校解除が事前に分かる場合、事前に年間行事予定、時間割、各教科で学習する単元等をClassroomやメール、ホームページ等で配信します。さらに今後、ホームページ上での授業や教員紹介、学校紹介のビデオ動画の配信も計画中です。

これからは休校解除後の高校生活に向けての準備期間と位置づけてください。新型コロナウイルスに感染しないように努めてください。不要不急の外出は控え、規則正しい生活に対応できるようにしてください。そのために、十分な睡眠を取り、バランスのよい食事を摂りましょう。免疫力を高めておくことが大事です。

学習面では、授業の遅れを取り戻すため教科書やスタディサプリ等で、必ず予習をしましょう。再開後の授業を考えると、例年より授業進度を早めないと年間指導計画に従って教科書を終えることはできません。授業について行くためにも、自ら予習をし、授業で復習するような形を整えましょう。

学校が再開された時に注意してほしいのは、登校の際には必ずマスクを着用してください。また、文房具、スポーツ道具、体操服(ジャージ等)、ゲーム器などの遊具、携帯・スマートフォンの貸し借りは止めましょう。さらに、飲食時の接触にも注意してください。昼食を摂るとき、他人との会話は控えてください。対面での食事でも控えてください。回し飲みや友達のおかずにも箸をつけることも駄目です。注意しましょう。

新しい生活様式を取り入れ、新型コロナウイルスの感染を防止しましょう！